

男子高校生 × 女子大生 ～学生のためのワークショップ～【拡大版】

参加費
無料

ジェンダー教育シンポジウム

ジェンダー いま 教育の現在

～これからの男性の生き方～



講師

おおたとしまさ 氏

教育ジャーナリスト
リクルートでの雑誌編集を経て独立。数々の
育児誌・教育誌の企画・編集に係わる。現在
は、幼児教育から中学受験、思春期教育、
ジェンダー教育、教育虐待、不登校、教育格差
問題まで多岐にわたるテーマで現場取材および
執筆活動を行っている。著書は『勇者たちの
中学受験』『男子校の性教育 2.0』など 80 冊以上。



永井 暁子 氏

日本女子大学人間社会学部
社会福祉学科教授・
現代女性キャリア研究所所長



櫻井 由美 氏

臨床心理士・公認心理師・成城中学スクールカウンセラー

内容

第一部 おおた氏・永井氏による講演
第二部 講師陣による
パネルディスカッション

11/9 土

14:00-16:00

@成城学校小講堂

新宿区原町 3-87
成城中学校・成城高等学校内
最寄り駅：都営大江戸線「牛込柳町」

参加申込はこちらから→

参加費 無料 定員 400 名

お問い合わせ先

toiawase@seijogakko.ed.jp



成城学校と日本女子大学

成城の第9代校長 澤柳政太郎は、着任前、東北帝国大学、京都帝国大学の総長を歴任しました。東北帝大総長のとき、帝国大学としてはじめて、女子学生の入学に門戸を開きます（1913年）。入学を許可された3名のうち、丹下ウメは、日本女子大学の卒業生でした。

また、日本女子大学の創設者 成瀬仁蔵と澤柳政太郎は、ともに、寺内正毅首相（在任1916～18）の諮問機関である臨時教育会議の委員を務めていました。特に、女子教育委員会では、成瀬が座長、澤柳が委員を務めるなど、親しいあいだがらでした。

2023年から始まった成城学校と日本女子大学とのジェンダー・ワークショップは、百年以上前にさかのぼる両校の縁を、あらためてたどる機会ともなっています。

ジェンダー・ワークショップ

ジェンダー平等の観点は現代社会の基礎的な素養の1つである、という考え方に立ち、成城高校と日本女子大学とは、2023年11月から、ワークショップを連続開催しています。「男らしさ」「女らしさ」を巡る議論を入口に、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）への気づきや「男らしさ」「女らしさ」の弊害や問題点の考察を経て、生徒・学生ひとりひとりが、「ジェンダー平等」への理解を深めていくことを目標にしています。



また、ワークショップを通じて、参加者が、物の見方や価値観の多様性を意識できるようになることを期待しています。

ワークショップは全3回で、第1回は2023年11月に成城学校で、第2回は2024年5月に日本女子大学で、それぞれ開催されました。過去2回の参加者は、両校とも延べ約20名にのぼります。第3回は今年の12月、日本女子大学で開催する予定です。

このたびのシンポジウムは、ワークショップの拡大版と位置づけています。両校の生徒や学生だけではなく、在校生の保護者の方、受験生の保護者の方、新宿区にお住まいの方、通勤・通学をされている方などに、広く取り組みを知っていただくことをねらいとしています。さらには、ジェンダー教育についての知見や課題をお示しし、社会全体でのこのテーマについての考察や議論の深まりに貢献したいと考えています。

